

APE 50 FI DN2連スピード&タコメーター取扱説明書

商品番号:05-05-3204

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

ホームページアドレス <http://www.takegawa.co.jp>
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16
TEL(0721)25-1357 (代)
FAX(0721)24-5059

適応車種 ・APE50 FI :AC16-1600001～
フレーム号機 AC18-1000001～

■ご使用前に必ずお読み下さい■

- ◎ 取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎ この製品を取付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご注意ください。
- ◎ 商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎ 他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

このたびは、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。取付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万が一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物の傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・点検、整備は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジン、マフラー(エキゾーストパイプ)などの、高熱を発生する場所にコードが接触しないよう配線の取り回しには十分気を付けてください。またステムなどの可動部分において、コードが引っ掛かる、挟まるなど配線が断線してしまう恐れがありますのでよく確認してください。
- ・一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・取付け後も必ず定期的に点検してください。
- ・取付け作業、点検作業は走行直後などエンジンの熱くなっている状態では行わないでください。
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
(部品の脱落の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・本製品の取り付けは運転に支障がないように、配線の取り回しなどに気を付け、確実に行ってください。
- ・取付けたあとも液漏れや配線を定期的に点検してください。
- ・走行中に異常が発生したと思われる場合はすぐに車両を安全な場所に停止し、異常箇所を点検してください。
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。
又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

- ◎ 商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対して、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。ただし交換工賃等の本製品以外の一切の費用は対象となりません。
- ◎ 正しい取付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
- ◎ この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。
- ◎ 性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品及び価格は予告無く変更されます、あらかじめご了承下さい。
- ◎ 車両自体の原因による場合、(レギュレーターの設定電圧が基準値を超えて過充電となった場合なども)保証は適用されません。

ヘッドランプなどのワット数の多いバルブが切れますと、消費できない電力分、電気系全体での電圧が上がってしまい、他のバルブやメーターに大きな負担を与えます。バルブ切れの際は、直ちに走行を止めメーター等の配線を抜いてください。ランプへの配線を遮断するだけの簡易ON/OFFスイッチは、OFFにすると上記同様にバルブ切れの状態になりますので、絶対に取付けしないで下さい。

※バッテリーの電圧が11V以下の場合、必ず充電が必要です。

この商品は精密機械です。12Vバッテリーの電気を使用し作動させています。充電できない(電圧が無い)状態のバッテリーを使用し続けると 車両側で発電している電気がそのまま電装系に流れキーON電源で作動させるものが、可電圧で壊れます。必ず、12.4V前後ある状態でバッテリーを使用してください。

※ 純正ヘッドライトケースは使用できません。

メーター類の位置が変更する為にライトケースの購入が必要になります。当社製ヘッドライトケースを別途購入して下さい。品番:090-00-0029

商品内容

番号	部品名	数量
1	DNスピードメーター	1
2	DNタコ&サーモメーター	1
3	スピードメーター電源コード	1
4	タコメーター電源コード	1
5	スティック温度センサー	1
6	センサー延長コード	1
7	ビックアップコードA	1
8	ビックアップコードB	1
9	クッションラバー	4
10	カラー	4
11	M5ナット	4

※ 単品出荷できない部品もありますので
その場合セット品にてご注文下さいます様お願いします。

番号	部品名	数量
12	メーターステー	1
13	赤色サブコード	1
14	赤色3Pサブハーネス	1
15	黒色6Pサブハーネス	1
16	オレンジインジケーター	1
17	グリーンインジケーター	1
18	ブレーンワッシャ	8
19	タッピングスクリュー	2
20	イグニッションスイッチカバー	1
21	熱収縮チューブ	1
22	六角穴付止めネジ	1
23	Lレンチ 1.5mm	1
24	エレクトロタップ	2
25	タイラップ	2
26	ブラウンサブコード	1
27	ミニレギュレーター	1



注意

※ HID ヘッドライトキット使用禁止。

社外品のHIDキットを付けている車両は、HIDのバラスト、イグナイター等の高電圧、ノイズ発生の為メーターが壊れます。

※ ヘッドライトOFFでの使用禁止。

ヘッドライトを消して走行すると、バッテリーが過充電になり、メーターが可電圧になり、故障します。レース等で使用する場合、メーターへの電源は別で取って下さい。

※ ミニレギュレーターについて

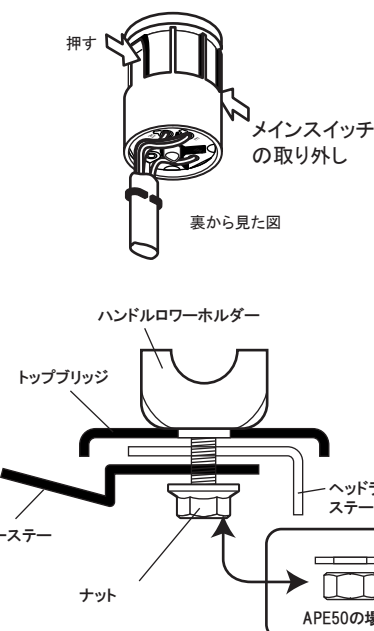
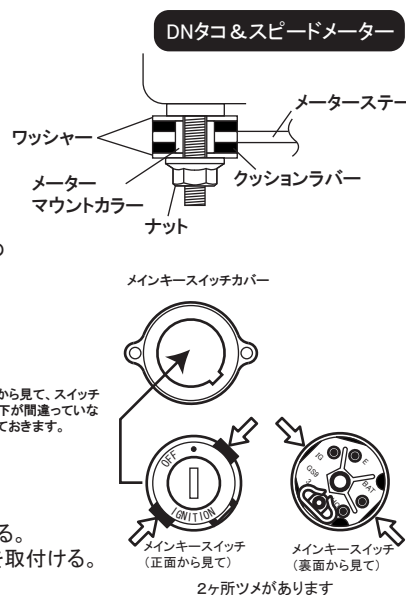
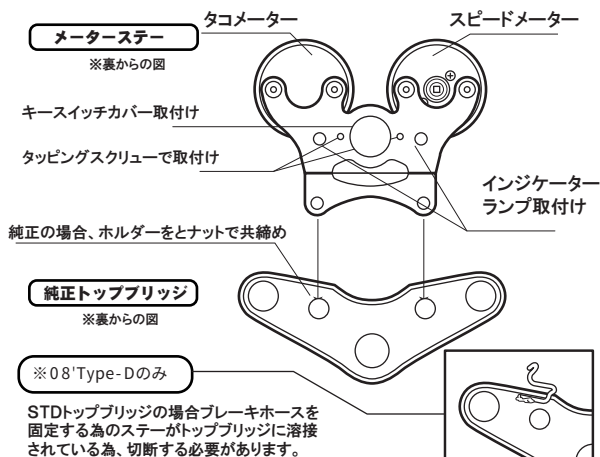
ミニレギュレーターは車両電装系に問題が発生した時(バルブ切れ等)にメーター類を保護する為の補助レギュレーターです。取付けは絶対ではありませんが、メーター保護の為取付けを推奨します。ただし、DNメーターの場合常時電源の場所に取付けする為、長期間乗らない場合バッテリーの配線を外しておいて下さい。

メーターの取付け

- メーターステーにニュートラルインジケーターランプ、FIチェックインジケーターランプをそれぞれ取り付けます。

メータステーの取付け

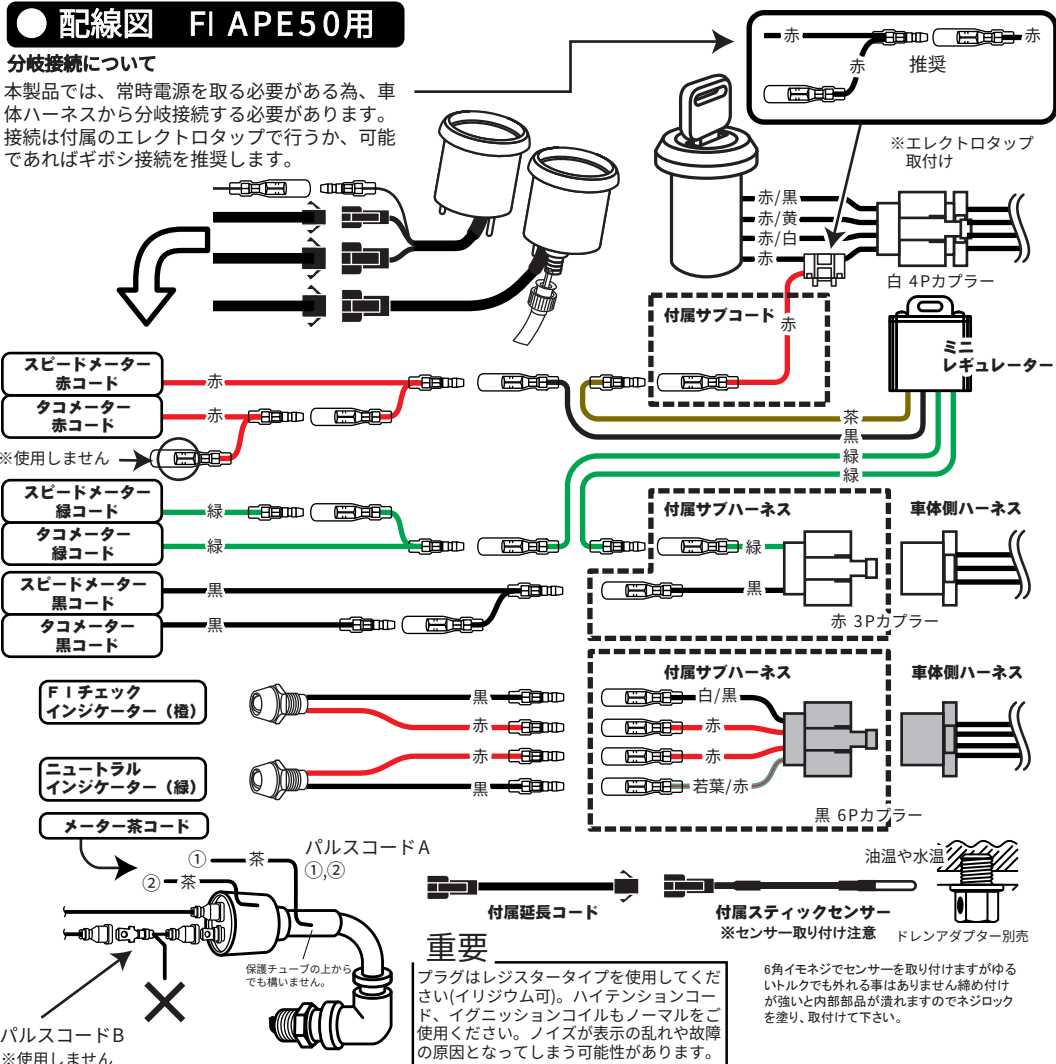
- メーターステーをハンドルローホルダーのネジ部分に取り付け、ナットで締め付けます。



● 配線図 FI APE50用

分岐接続について

本製品では、常時電源を取る必要がある為、車体ハーネスから分岐接続する必要があります。接続は付属のエレクトロタップで行うか、可能であればギボシ接続を推奨します。



パルスコードAをハイテンションコードに沿わせる方法 ①

- ・ハイテンションコードからプラグキャップを外します。
- ・付属のパルスコードAをハイテンションコードに1cm程度沿わせて絶縁テープなどで仮止めしてください。
- ・テープで記録を仮止めしている部分に熱収縮チューブを通し、ドライヤーなどで熱チューブを収縮させてください。チューブの収縮温度は90℃以上で、約50%の内径まで収縮します。
- ・最後にプラグキャップをしっかり取り付けてください。

タコメーターの作動が安定しない場合 ②

ノイズが強すぎて、表示が乱れてしまう場合イグニッションコイルボディー表面に少し(10mm程度)コードをわせたタイラップ等で固定する。点火電流の電線から遠く、またノイズ電圧も低くになります。

危險

タンクにガソリンがあり、大変危険ですので、ライターなどの火を使いチューブを収縮させることは絶対に止めてください。

パルスコードBの使用は使用しないで下さい。

パルスコードAの方が読み込みに関して調子の良い事が多いです。
FI APEの場合、パルスコードBを使用するとタコメーターが安定しません。
パルスコードAを使用しタコメーターの読み込みを取ってください。